

プレスリリース

2020年

[2019年](#)

[2018年](#)

[2017年](#)

[2016年](#)

2020年

12月10日

「月替わりサイバーリスク評価サービス」を提供開始

11月9日

ローコード開発プラットフォーム「OutSystems」を提供開始

11月5日

社内ネットワークの脅威を可視化する「Vectra AI」を提供開始

11月2日

株式会社SSLパワードサービスの社名変更について

10月6日

「富士通SSLソリューションフォーラム2020 ONLINE」を開催

9月10日

「テレワークセキュリティコンサルティング」を提供開始

8月6日

特権ID管理「CyberArk Privilege Cloud」を販売開始

7月13日

「SHieldMailChecker 誤送信防止」のBox連携オプションを販売開始

6月26日

役員人事について

5月11日

メール誤送信防止製品のテレワーク用追加ライセンスを無償提供

4月1日

役員人事に関するお知らせ

3月5日

富士通SSLが「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に3年連続で認定

2015年以前のプレスリリースは[旧ページ](#)をご確認ください。

利用条件

個人情報保護ポリシー

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

[ホーム](#) [お知らせ](#) [プレスリリース](#) 「月替わりサイバーリスク評価サービス」を提供開始

プレスリリース

2020年12月10日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

「月替わりサイバーリスク評価サービス」を提供開始

～組織のセキュリティ対応状況を踏まえ、日々変化する
セキュリティリスクを多角的・継続的に評価～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：川崎市中原区、代表取締役社長：土肥 啓介）は、日々、増加し続けるセキュリティリスクを様々な技術で多角的・継続的に評価し、可視化する「月替わりサイバーリスク評価サービス」を、2020年12月10日に提供開始します。

近年、デジタル技術の発展と共に、新たなクラウドサービスやテレワーク環境、外部のSaaS連携やDevOpsを用いたサービス開発環境等、企業におけるシステム環境も大きく変化しています。また、それらを繋ぐ認証システムも複雑化しており、企業を取り巻くセキュリティリスクは、日々増加し続けています。セキュリティリスクの確認は一度きりの評価のみならず、変動するリスクに対し自組織のセキュリティレベルを様々な視点から、継続的に把握することが肝要で、昨今、複数の評価手法を用い組織のセキュリティリスクを継続的に把握したい、というお客様のご要望も増えつつあります。

この度提供開始する「月替わりサイバーリスク評価サービス」は、当社が用意した複数のサイバーリスク評価メニューの中から、お客様が必要とされるサービスを、自由に組み合わせ継続的にご利用いただけるサービスです。また、本サービスでは、お客様ごとに専任のコンサルタントを配置し、お客様環境とリスク評価結果を照らし合わせ、次なるアクションもご提案していきます。

当社では本サービスの特長である、多角的、かつ継続的評価を推進することで、お客様と共に、セキュリティリスクを網羅的に把握し、適切なセキュリティ対策の計画立案、並びにセキュリティ対策の実装を支援し、お客様へ安全・安心を提供していきます。

【「月替わりサイバーリスク評価サービス」の特長】

「月替わりサイバーリスク評価サービス」は、変化し続けるシステム環境とリスクに対し、各種サイバーリスク評価サービスを組み合わせ、多角的にリスク評価していくサービスです。

組み合わせ例：

1. テレワークに伴う新たなリスクを短期間で評価したい「3回のサイバーリスク評価コース」

1か月目：

「テレワークポリシーのセキュリティリスク評価」にて、テレワーク環境のリスクを評価

2か月目：

「クラウドシャドーITの評価」にて、組織ポリシーに反するクラウド利用のリスクを評価

3か月目：

「ダークウェブへの情報漏えい評価」にて、自社が有する・関連する情報漏えいのリスクを評価

2. 新たなリスクに対し、常に多角的な手法で評価していきたい「12回のサイバーリスク評価コース」

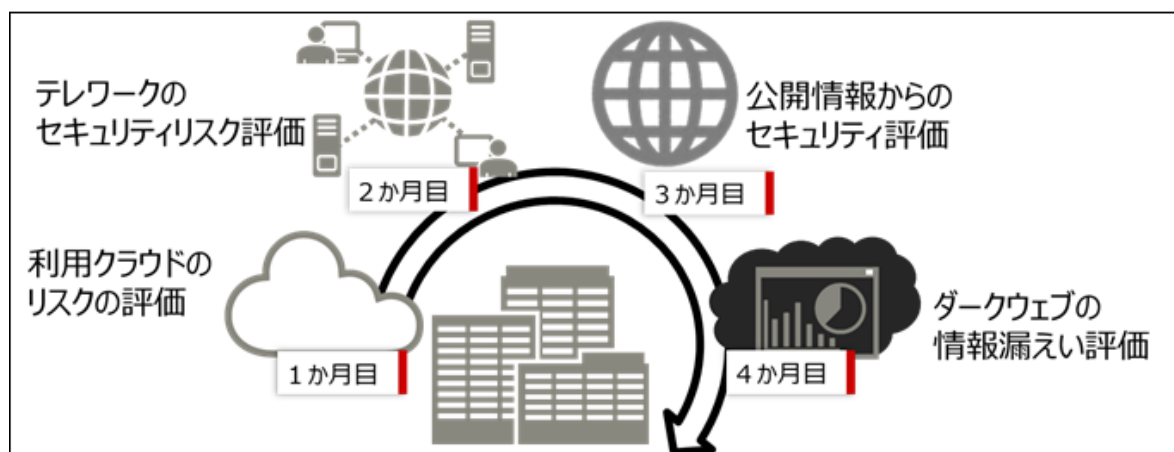
毎月：専任コンサルタントと年間計画を策定し、洗い出されたリスクに応じ、リスク評価を実施

（毎月、優先順位を踏まえ、サービスメニューの中から1つずつ、リスク評価を実施）

お客様の専任コンサルタントを配置することで、お客様環境を把握し、評価対象の選定から、リスクの見える化、改善提案までを継続的にサポートしていきます。

本サービスの詳細は、当社ウェビナーでもご紹介してまいります。（12月17日開催）

<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/about/resources/events/2020/webinar1217/>



【「月替わりサイバーリスク評価サービス」で選択可能なメニュー】

「月替わりサイバーリスク評価サービス」では、以下のサービスメニューからお客様が必要とするものを選択いただき、様々な角度からリスクを評価します。

サービスメニュー	実施内容	対象
IaaS環境のリスク評価	IaaS環境の構成設定を確認することで、セキュリティのリスクを評価します。（参照可能な管理サービス、パスワードポリシーのリスクなど、100項目程度）	1クラウド/回
クラウド特権IDの評価	クラウドのユーザー設定を調査し、特権IDの状態を評価します。（ユーザーIDの一覧化、過剰な権限となりうるユーザーIDの検出など、10項目程度）	1クラウド/回
クラウドシャドーITの評価	内部のアクセスログから、クラウドシャドーITの利用状況を評価します。（利用中のクラウドサービスの一覧化や、それらサービスの利用状況など）	1アクセスログ/回
公開情報からのセキュリティ評価	インターネット上に公開されている情報から、企業のセキュリティ対策状況を評価します。（サポート切れと思われる製品や、意図せぬ秘密情報の有無など、100項目程度）	1ドメイン/回
ダークウェブへの情報漏えい評価	キーワードを基にダークウェブでの情報漏えいの可能性を調査します。（5キーワード）	5キーワード/回
公開サーバーの脆弱性評価	公開サーバーに外部からネットワーク診断を実施して、OSやミドルウェアの脆弱性の有無を確認します。（望ましくない暗号化処理の有無や、ソフトウェアの脆弱性など、10万項目程度）	3IPアドレス/回
テレワークポリシーのセキュリティリスク評価	企業のテレワークポリシーの状態をヒアリングし、セキュリティのリスクを評価します。（社内システムへの接続や、クラウド利用時のルールに関するリスク評価、20項目程度）	1環境/回

※サービスメニューは順次、拡充してまいります。

【「月替わりサイバーリスク評価サービス」に含まれる専任コンサルタントサービス】

- ・お客様の気になるポイントをヒアリングし、リスク評価対象選定を支援します。
- ・お客様の選択したサイバーリスク評価メニューにより、リスクの可視化をご支援します。
- ・お客様環境を継続的に把握し、リスク評価の結果をお客様環境に照らし合わせ、解説します。
- ・検出されたリスク評価の結果を踏まえ、お客様へ改善策を提案します。

※成果物は、サイバーリスク評価詳細レポート（A4 10ページ程度）と、サイバーリスク評価総括報告書（A4 数ページ程度）です。

※本サービスに関する打ち合わせは、1回あたり2時間までのWeb会議となります。

※検出されたリスク評価に対する改善の実現については、本サービスの範囲外となります。

【販売価格】

12回コース 12回のサイバーリスク評価 300万円（税別）

6回コース 6回のサイバーリスク評価 210万円（税別）

3回コース 3回のサイバーリスク評価 120万円（税別）

【販売開始日】 2020年12月10日

【販売目標】 1年間で50社

【関連Webサイト】

- ・「月替わりサイバーリスク評価サービス」

<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/services/security-consulting/monthly-assessment/>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)



プレスリリース

2020年11月9日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

ローコード開発プラットフォーム 「OutSystems」を提供開始

～ 高速開発を可能とする「OutSystems」により、
お客様のDX実現を支援 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：川崎市中原区、代表取締役社長：土肥 啓介、以下 富士通SSL）は、OutSystems社のローコード開発プラットフォーム

「OutSystems」を2020年11月9日に販売開始します。当社はローコード開発プラットフォームのリーダーであるOutSystems社と協業し、お客様のDX（デジタルトランスフォーメーション）の実現を支援していきます。

DX時代の到来に伴い、システム開発手法にも俊敏な手法が求められております。今までよりも早いサイクルで、設計から開発、テスト、リリースを繰り返すには、開發生産性やアジリティの向上が不可欠となります。しかしながら、従来の開発手法においては、多種多様なツールや開発プラットフォームを、高度に駆使し開発する必要があり、アジリティの高いシステム開発を実現するのは容易ではありません。

「OutSystems」は、直感的なUIにより高速開発を実現する、ローコード開発プラットフォームです。市場ニーズに即した各種テンプレートや、Webとモバイル環境向けの開発支援機能、3,000以上のオープンソースライブラリによる機能拡張で、コーディング作業のほとんどを画面操作で行い、俊敏なシステム開発を実現します。

一方、高速開発を行うには、システムの全体像を理解し、各開発工程を最適化するアプローチがエンジニアに求められます。当社では、10年以上にわたりアジャイル開発に取り組んでおり、社内コミュニティの設立や、スクラム実践・アジャイル開発事例の中で、高速開発のノウハウを蓄積してきました。2020年4月には、迅速なソリューション開発、並びに高速開発を実現するエンジニアを育成すべく「ソリューション開発道場」を設立し、その開発環境には「OutSystems」を活用しています。当社では「OutSystems」の利点を最大限に活かすため、積極的に社内実践とノウハウを蓄積していくと共に、提供するサービスを通じ、お客様のDXの実現を支援していきます。

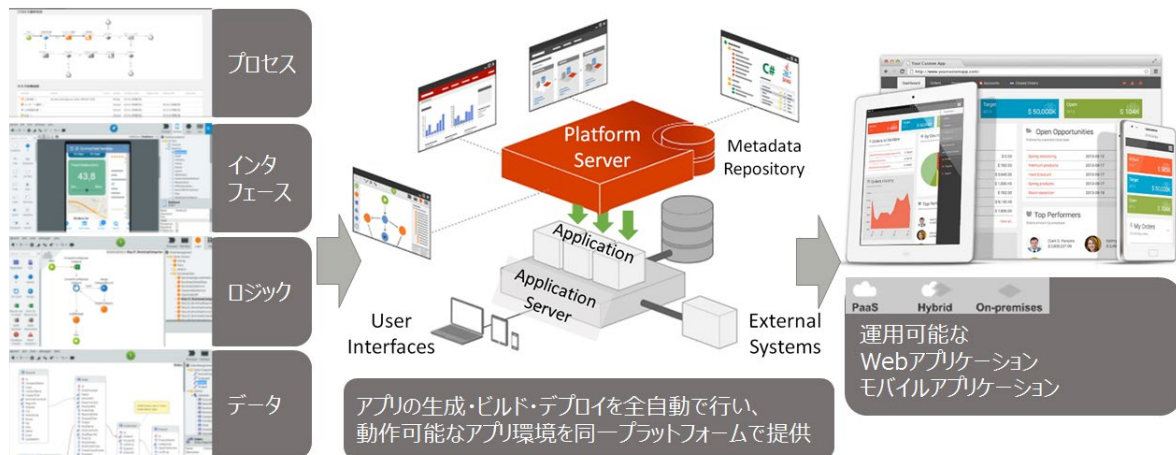


図1. 「OutSystems」で実現する超高速開発の概要

【「OutSystems」の特長】

1. 独自のユーザーインターフェース（以下、UI）で、画面テンプレートやUIコンポーネントを提供
63種類の画面テンプレート、132種類のUIコンポーネントを標準提供し、CSSやJavaScriptによる拡張を可能にすることで、UI開発における制約の軽減を実現。市場ニーズにあったUIを用いて、多様な表現に応えることができます。
2. Webアプリとモバイルネイティブアプリ両方の開発をサポート
デバイスのセンサーや機能との連携もローコード開発で実現。サーバーロジックとの非同期連携、ローカルストレージを利用したオフライン機能開発も標準サポートしています。
3. 3,000以上のオープンソースライブラリ（Forge）を利用した機能拡張
再利用可能なモジュール、UIコンポーネント、外部サービス連携コネクタ、各種ライブラリを提供。独自開発して追加することも可能で、エンジニアの高速開発を支援します。

【富士通SSL アジャイル開発への取り組み】

当社では、20年前より現場主導でアジャイル開発に取り組みはじめ、10年前より全社的にアジャイル開発の実践を開始しました。

情報共有を目的とした社内コミュニティの設立や、新たな開発手法の実践を経て、日々、ノウハウの蓄積とスキル向上に取り組んでおります。

- ・アジャイル関連情報を共有する社内コミュニティ「Agiao（アジャオ）」
- ・アジャイル関連資格の取得（富士通アジャイル認定資格 56名、スクラムマスター認定資格 11名）
- ・スタンダードアジャイルやハイブリッドアジャイル、制約理論（TOC）等の新たな開発手法の実践
- ・迅速なソリューション開発、人材育成を目的とした「ソリューション開発道場」での「OutSystems」活用

【販売価格（税別）】 個別見積り ※詳細は、お問い合わせください。

【販売開始日】 2020年11月9日

【販売目標】 4年間で4.5億円

【OutSystemsジャパン株式会社様からのエンドースメント】

OutSystemsジャパン株式会社は、富士通SSL様とのパートナーシップを歓迎します。OutSystemsジャパンは「デジタルトランスフォーメーションで日本企業の競争力に貢献する」を企業のミッションとして挙げています。COVID-19のパンデミックによって、日本のデジタルトランスフォーメーションが今までは考えられなかったスピードで進んでいる中、ローコードで更なる革新を目指す企業が増えています。今回の富士通SSL様との協業によって、日本企業の生産性の向上を実現し、より多くのお客様に新しい価値提供ができるものと確信しております。

OutSystemsジャパン株式会社
代表取締役社長 アーノルド・コンセンコ

【関連Webサイト】

- ・「OutSystems」

<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/outsystems/>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

プレスリリース

2020年11月5日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

社内ネットワークの脅威を可視化する 「Vectra AI」を提供開始

～ Network Detection and Response（NDR）で セキュリティインシデントを早期解決～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：川崎市中原区、代表取締役社長：土肥 啓介）は、Vectra Japan株式会社（以下、Vectra社）のNetwork Detection and Response（以下、NDR）製品である「Vectra AI」を2020年11月5日に販売開始します。

昨今、クラウドやSaaSを活用したリモートワークや、在宅勤務などの新たな就業形態が普及し、社内ネットワークの構成も変化しつつあります。しかしながら、クラウドやSaaSへの移行が難しい重要情報資産も多く存在し、依然として社内ネットワークに対するセキュリティ対策は重要な課題となっています。その状況下、近年の高度化したサイバー攻撃により、ファイアウォール、IPS、WAFなどの多重防御をすり抜け、社内ネットワーク内に侵入する事象（インシデント）が急増しています。インシデント対処に際しては、時間経過とともに対応工数や被害額が増加するため、新たなアプローチとして、侵入されることを前提としたインシデントの早期検出と、ネットワーク上での影響範囲を網羅的に可視化し、迅速な対処を実現するNDRソリューションが今注目されています。

「Vectra AI」は対象ネットワークのトラフィックを採取・分析し、内部に侵入した脅威を、俯瞰的に可視化するアプライアンス型のNDRソリューションです。「Vectra AI」が膨大なアラート

情報から、独自のAI検出技術により緊急度の高いインシデントを自動で絞り込み、シンプルで分かり易いダッシュボードに表示することで、インシデントを早期解決に導くことが可能です。また、社内ネットワーク上のPCや、データセンターのサーバー等へのエージェントは不要で、「Vectra AI」をネットワーク上に設置するだけで導入できます。

当社は、当社セキュリティポートフォリオに「Vectra AI」を加えることで、新たな脅威への対応力を上げ、お客様のビジネス環境の安全・安心を支援していきます。

【「Vectra AI」の特長】

「Vectra AI」を用いる事で、セキュリティインシデントを早期に検出し、解決に導きます。

1. 独自のAI検出技術により、サイバー攻撃を早期に検出
 - ・教師データを用いたAI学習（グローバルラーニング）と、教師データを用いないAI学習（ローカルラーニング）を用い、相関分析をおこなうことで、過検知を最小限にとどめ、精度の高い検知を実現。
 - ・米国特許庁にて特許を取得した、「Vectra AI」独自のAI検出技術を搭載。
2. ネットワーク全体を俯瞰し、緊急度の高いインシデントを自動で絞り込み、運用を効率化
 - ・膨大なアラート情報の中から、発生している脅威の内容を分析し、「Vectra AI」が対処の優先順位付けを実施。

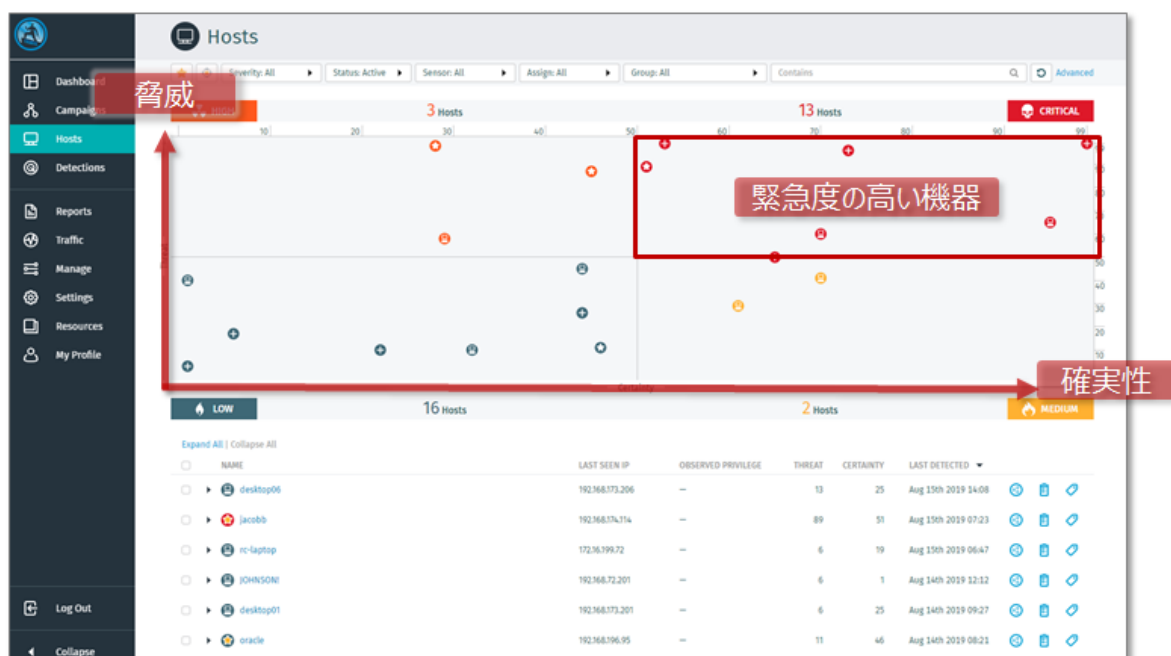


図1. 「Vectra AI」ダッシュボード 脅威一覧

3. インシデント（サイバー攻撃）の詳細を、直感的に表示することで、迅速な対処と復旧を支援

- ・異常が検出された機器への侵害状況を、分かり易く表示。
- ・時系列表示で、インシデント対処が漏れなく完了したかも一目瞭然。



図2. 「Vectra AI」ダッシュボード 解析結果

4. ネットワークゲートウェイへ「Vectra AI」を接続するだけで、ネットワーク上のIPデバイスを監視。

- ・L3/L2スイッチのミラーリングポートに接続するだけで利用開始が可能。
- ・エンドポイントへのエージェント導入は不要。

【販売価格（税別）】 個別見積り（1,000万円から） ※詳細は、お問い合わせください。

【販売開始日】 2020年11月5日

【販売目標】 3年間で8億円

【関連Webサイト】

- ・NDRソリューション「Vectra AI」
<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/vectra/>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL： <https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上

をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

[ホーム](#) [お知らせ](#) [プレスリリース](#) [株式会社SSLパワードサービスの社名変更について](#)

プレスリリース

2020年11月2日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
株式会社富士通SSLパワードサービス

株式会社SSLパワードサービスの 社名変更について

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：川崎市中原区、代表取締役社長：土肥 啓介、以下富士通SSL）は、サービスデスク専門の100%子会社である株式会社SSLパワードサービス（本社：川崎市中原区、代表取締役社長：都丸 良弘）を2020年11月1日付で、株式会社富士通SSLパワードサービス（以下、SSLPS）に社名変更しました。

SSLPSは、2005年11月に富士通SSLの100%子会社として設立され、それぞれの分野で実績を持つプロフェッショナルSEによる24時間365日のサービスデスク提供を強みとしています。設立以来、ITサービス管理（ITIL）認定資格の全社員取得をはじめとした様々な取り組みにより、提供するサービスデスクの品質を向上させ、お客様の運用負荷軽減、トラブルの早期解決等を支援してきました。

今回、SSLPS創立15周年の節目に社名を「富士通SSLパワードサービス」に改めることで、今まで以上にお客様からの信頼を大切にし、富士通SSLグループとして、富士通のパーパス（「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていこう」）の実現を目指していきます。

【富士通SSLパワードサービスについて】

商号：株式会社富士通SSLパワードサービス（略称：SSLPS）

英文表記：Fujitsu SSL Powered Service Limited

本社所在地 : 神奈川県川崎市中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス (〒211-0063)

代表者 : 代表取締役社長 都丸 良弘

従業員数 : 115名 (2020年11月1日現在)

設立 : 2005年11月1日

事業内容 : サービスデスク (ソリューションサービスデスク、システム運用監視サービスデスク)、ITIL導入コンサル

URL : <http://www.sslps.com/>

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL : <https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution (パワード・ソリューション)」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

プレスリリース

2020年10月6日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

「富士通SSLソリューション フォーラム2020 ONLINE」を開催

～ ニューノーマル時代のお客様のDXを支援する
最新のソリューションをご紹介します ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介）は、2020年11月5日（木曜日）に、「デジタルテクノロジーで未来を創る ～信頼と技術で応えるSSL～」をテーマにオンラインイベント「富士通SSLソリューションフォーラム2020 ONLINE」を開催します。

新型コロナウイルスの影響により、ビジネス環境は大きく変化し、ニューノーマルな時代に向け多くの企業でデジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みが加速すると考えられています。

「富士通SSLソリューションフォーラム2020 ONLINE」では、自社ソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」から、DXを支えるテクノロジーやセキュリティ、データマネジメントを中心に、お客様のDXを支援する最新のソリューションをご紹介します。

当社は、DX時代においても信頼と技術で応え続けるエンジニア集団として、先進技術とイノベーションによりお客様のDXを支援し、より持続可能な社会の実現を目指していきます。

本イベントの詳細や事前お申し込みについては、「富士通SSLソリューションフォーラム2020 ONLINE」Webサイトをご覧ください。



開催イメージ（ロビー）



開催イメージ（展示ブース）

【開催概要】

名称	富士通SSLソリューションフォーラム2020 ONLINE
会期	2020年11月5日（木曜日） 10時～17時
テーマ	デジタルテクノロジーで未来を創る ～信頼と技術で応えるSSL～
主催	株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
協賛	インフォマティカ・ジャパン株式会社 マカフィー株式会社 OutSystemsジャパン株式会社 Splunk Services Japan合同会社 他、全10社
ご参加	事前参加申込制（無料） ご参加は、 <u>公式サイト</u> よりお申し込みください。
公式サイト	「富士通SSLソリューションフォーラム2020 ONLINE」 Webサイト https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/about/resources/events/forum/

【イベント構成】

1. セミナー

各分野のエキスパートとして第一線で活躍する当社社員から、ニューノーマル時代のDXを支援するソリューションをご紹介します。

13時40分～14時00分

<p>リバウンドしがちなテレワーク、「でも、もう元には戻さない」 ～ 場所・時間・立場を問わないビジネス環境のセキュリティ ～</p> <p>サイバーセキュリティ事業本部 第一システム部 セキュリティストラテジスト 幸田 一生</p>	
<p>14時00～14時20分 プラットフォーム最前線 ～ 私たちが提供するDXを支える最新技術 ～</p> <p>基盤システム事業本部 第一システム部 プロジェクト課長 大久保 豪師</p>	
<p>14時50分～15時05分 テレワーク時代のアプリケーション開発に求められるコト ～ ソフト×ハード → DX ～</p> <p>第三システム事業本部 第三システム部 部長 渡辺 登、他</p>	
<p>15時05分～15時20分 お客様と共創し、AI技術を用いてDXを実現</p> <p>第三システム事業本部 第七システム部 システムアーキテクト 山本 剛</p>	
<p>15時20分～15時40分 DXを推進するマスタデータ管理 成功のポイント</p> <p>第三システム事業本部 第四システム部 プロジェクト課長 志村 隆一、他</p>	

2. 展示

お客様のDXを実現するためのソリューションや技術を、当社の注力テーマであるセキュリティやDXを支えるテクノロジー、データマネジメントを中心に、映像コンテンツ、各種資料などでご紹介します。

また、当社と連携し、お客様への提供価値を向上する協賛各社からも、先進のソリューションをご紹介します。

(注) セミナー、展示の内容は変更することがあります。

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上

をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

お客様お問い合わせ先

富士通SSLソリューションフォーラム2020 ONLINE事務局

E-mail : ssl-forum@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

プレスリリース

2020年9月10日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

「テレワークセキュリティコンサルティング」を提供開始

～ テレワークに伴うリスクを可視化し、お客様の経営判断をサポート ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：川崎市中原区、代表取締役社長：土肥 啓介）は、テレワークに伴うセキュリティリスクの可視化と、具体的な改善策を立案する「テレワークセキュリティコンサルティング」の提供を、2020年9月10日より開始します。

新型コロナウイルスの影響により、テレワークを前提とした業務変革に取り組む企業が急増しています。しかし、多くの企業では、十分なセキュリティ対策の検討ができないままテレワークに移行し、現在もセキュリティリスクを抱えつつテレワーク環境を運用しています。そのため、テレワーク環境を狙ったサイバー攻撃も増加しており、業務継続を優先しテレワークに移行した企業にとって、テレワークにおけるセキュリティ対策は喫緊の課題となっています。

「テレワークセキュリティコンサルティング」は、標準的なガイドラインに沿った提言に留まらず、お客様のセキュリティポリシーや、お客様のテレワーク環境を踏まえたうえでセキュリティリスクを可視化するため、具体的な改善策までを立案します。テレワークへの移行時、十分なセキュリティ対策の検討ができなかった場合でも、本サービスを用いることで、客観的かつ網羅的にリスクを可視化できるため、的確なセキュリティ対策を計画していくことができます。また、本サービスは、早急にセキュリティ対策の見直しが必要なお客様を支援するため、約2か月の短期間で実施し、すべてのお客様に50万円（税別）と安価で提供します。

当社は20年以上にわたり、セキュリティコンサルティング事業を手掛けており、事業継続立案や外部監査の代行、各種認証取得・ガイドライン準拠支援などにより、様々なお客様のセキュリティポリシー策定・運用の支援ノウハウを積み重ねてきました。このたび、当社のノウハウを生かした「テレワークセキュリティコンサルティング」を提供することで、ニューノーマル時代における安心安全なテレワーク環境の構築を支援していきます。

【「テレワークセキュリティコンサルティング」の特長】

「テレワークセキュリティコンサルティング」は、お客様のセキュリティポリシーやテレワーク環境の運用状況を踏まえ、当社コンサルタントがリスクを評価し、具体的な改善策を立案していきます。

1. お客様の状況を踏まえた、網羅性のあるリスクアセスメント
ISO/IEC27001など、様々なセキュリティ標準を熟知したセキュリティコンサルタントが、お客様のセキュリティポリシーや現状のテレワーク運営を把握した上で、リスクの棚卸が必要なチェック項目を洗い出し、客観的、網羅的なリスクアセスメントを実施します。
2. お客様に合わせた、具体的な改善策を立案
可視化されたリスクに対しては、お客様の運営体制、情報資産、対策状況（物理的・技術的）や、富士通グループにおける社内実践も踏まえ、当社のコンサルタントがお客様に合わせた具体的な改善策を立案します。

本コンサルティングサービスの詳細は、富士通Weeklyオンラインセミナーでもご紹介予定です。
(9月15日配信開始)

<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/21248>

【「テレワークセキュリティコンサルティング」の進め方】

1. 情報セキュリティポリシー、およびテレワーク運用状況の把握
お客様のセキュリティポリシーと、テレワークへの移行に伴う緊急対応内容を提供いただき、当社のコンサルタントが、より具体的なアセスメントを実施するため詳細を把握。
2. チェックリストによるリスクの棚卸
情報資産の格付けや、私物機器・コミュニケーションツールの利用状況等を、チェックリストベースで確認。
3. コンサルタントによるリスクアセスメント
当社のコンサルタントが、収集した情報を元にセキュリティリスクを評価し、現在のセキュリティポリシーとのかい離（ルールの不整合、ルールが無い等）を抽出。

4. 改善案のご提案

抽出されたリスクに対し、当社より改善案（体制・資産管理・物理対策・技術対策の観点）を、コンサルティング報告書として提示。

※ お客様のセキュリティポリシーの見直しは、本サービスの対象外、別サービスでの対応となります。

※ 本サービスにおける打ち合わせは2回（各2時間まで）となります。

- ・第1回：キックオフおよび資料提供等のお願い（テレビ会議）
- ・第2回：報告会（テレビ会議）

【販売価格（税別）】

約2か月間のコンサルティング（オンライン打ち合わせ：2回、チェックリストの作成：30問程度、コンサルティング報告書の作成：A4 3枚程度）にて、500,000円（税別）。

コンサルティングの内容詳細は当社Webサイト、または製品・サービスお問い合わせ先へお問い合わせ下さい。

【販売開始日】 2020年9月10日

【販売目標】 1年間で50件

【関連Webサイト】

- ・「テレワークセキュリティコンサルティング」

<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/services/security-consulting/telework-security/>

【株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリについて】

URL：<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

プレスリリース

2020年8月6日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

特権ID管理「CyberArk Privilege Cloud」を販売開始

～ オンプレミスからクラウドまで選択可能な特権ID管理システムを、富士通SSLがワンストップで提供 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介）は、CyberArk Software株式会社（以下、CyberArk社）のSaaS版特権ID管理製品「CyberArk Privilege Cloud」を2020年8月6日に販売開始します。当社は2020年2月から販売しているオンプレミス版の特権ID管理製品「CyberArk Privileged Access Security」と合わせ、お客様のご要望に応じ2つの形態で特権ID管理システムを提供します。

近年、企業のデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）が加速すると共に、システム環境も多様化し、運用と一体となり開発を進める手法（DevOps）や業務を自動化するRPA、パブリッククラウドを活用したクラウドシフトなど、新たなシステム開発・運用手法が創出されています。従来、特権ID管理の多くは、オンプレミスのサーバーやネットワーク機器などのリソースを対象としていましたが、システム環境の多様化に伴い、特権IDをソースコードに埋め込まれた運用自動化ツールや、パブリッククラウド上のリソースにも対象を拡大しています。多様なリソースに管理対象が広がることで、特権ID管理はさらに複雑化し、適切な特権ID管理（最小特権付与、不正アクセス検出、パスワードの定期的な変更等）の実現には高度なスキルが求められています。

CyberArk社の特権ID管理製品は、特権ID管理の運用作業を最小限に抑え、最大の効果を発揮するソリューションです。当社は2010年5月に発売した、自社開発の特権ID管理機能を含むサーバー操作履歴録画ゲートウェイ「SHieldWARE NE」の100社を超える導入実績、および特権IDの管理対象となる各種ネットワーク機器やサーバー、RPAツール等についても多くのお客様への提供を通じノウハウを蓄積してきました。CyberArk社製品の特権ID管理システム構築においても、当社の長年の知見を基に製品導入前のコンサルティングからお客様の運用に合わせたカスタムプラグイン開発までワンストップで提供し、お客様にとって最適な特権ID管理をご支援します。

今後も当社は、特権ID管理をはじめ、幅広いセキュリティポートフォリオで、DX時代の多様なシステム環境に対応し、お客様へ安全・安心を提供していきます。

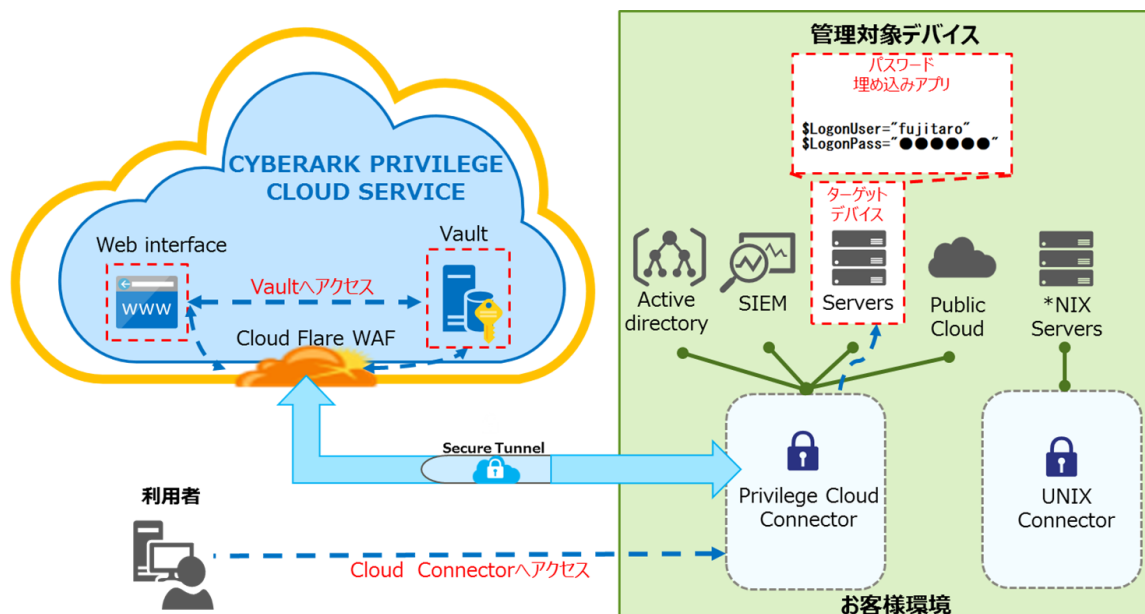


図1. 「CyberArk Privilege Cloud」利用イメージ

【「CyberArk Privilege Cloud」の特長】

1. 包括的な特権ID管理を、短期間、スモールスタートで実現
 - ・「CyberArk Privilege Cloud」は、接続コネクタを準備するだけで、オンプレミスやクラウド上リソースの特権IDや、特権IDを埋め込まれた運用自動化ツールも、包括的に管理が可能となります。
 - ・「CyberArk Privilege Cloud」は、オンプレミス版の「CyberArk Privileged Access Security」の主要機能を網羅しており、導入後も様々な機能アップデートを利用できます。
2. 専任コンサルタントによる支援プログラム（Guided Success Plan）を提供
 - ・支援プログラムの主な内容は以下のとおりです。
 - 実装前チェックリストによるシステム環境調査
 - 「CyberArk Privilege Cloud」の展開スケジュール策定
 - 支援期間中の定期的なミーティングによる最適プランの見直し
 - ・迅速な特権ID管理の実現を目指し、導入規模に応じた、段階的な支援メニューを提供します。

【当社導入支援の特長】

1. 運用コンサルティング

当社の専門技術者とCyberArk社の専任コンサルタントが連携して支援プログラムを推進し、スムーズな運用を実現します。特権ID管理における長年の実績から、当社がお客様の保有する特権IDの棚卸と、お客様環境に最適な特権ID管理構成を策定します。また、特権ID管理で求められる他製品連携（SIEM、RPA、ERP、DB等）においても、当社の専門部隊と連携し、幅広く豊富なノウハウにより、お客様の特権ID管理をワンストップで支援します。

2. カスタムプラグインの作成

「CyberArk Privilege Cloud」の標準機能として提供されている他製品との連携プラグインに、お客様指定の製品が含まれていない場合、当社でカスタムプラグインを開発し提供します。

【販売価格（税別）】

個別見積り（年額4,200,000円～、導入支援費用は別途）

【販売開始日】 2020年8月6日

【販売目標】 4年間で3億円

【CyberArk Software株式会社様からのエンドースメント】

サイバーセキュリティ分野において豊富なソリューション群を提供されている富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ様にて、CyberArkの特権アクセス管理ソリューションをお取り扱いいただけることを大変光栄に思います。富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ様と一丸となって、お客様の特権アクセス管理の高度化とゼロトラストセキュリティへの移行支援に取り組んで参ります。

CyberArk Software株式会社
執行役社長 智田 公徳

【関連Webサイト】

- ・特権ID管理「CyberArk」

<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/cyberark/>

【株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリについて】

URL：<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「DataManagement」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上をご支援しています。

また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

利用条件

個人情報保護ポリシー

お問い合わせ

サイトマップ

富士通ホームへ

プレスリリース

2020年7月13日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

「SHieldMailChecker 誤送信防止」 のBox連携オプションを販売開始 ～ クラウドストレージの活用でも うっかりミスを防ぎ情報漏えいを防止 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：川崎市中原区小杉町、代表取締役社長：土肥 啓介）は、企業のBox活用増加に伴い、「FUJITSU Security Solution SHieldMailChecker（シールドメールチェッカー） 誤送信防止」を機能強化し、添付ファイルをBoxのファイル共有に簡単に切り替え可能な「Box連携オプション」を2020年7月13日に販売開始します。

「SHieldMailChecker 誤送信防止」は、メール送信時に送信先アドレスや添付ファイルの再確認を促すことで、うっかりミスによるメール誤送信を未然に防止する、スタンドアロン型のソフトウェア製品です。

今回の機能強化により、利用者はメールにファイルを添付するだけで、Boxの操作画面を使うことなく、Boxのファイル共有が可能となります。また、組織のセキュリティポリシーに合わせた管理者によるBoxの共有設定の制御や、リスクの高い共有への警告表示機能等により、組織のポリシー順守を支援し、利用者のファイル共有設定ミスによる情報漏えいを防ぐことができます。

なお、当社は、拡大するテレワーク環境のセキュリティ強化を支援するため、テレワーク環境で2020年12月31日までご利用いただける同製品の本体ライセンスを無償提供（注1）しております。

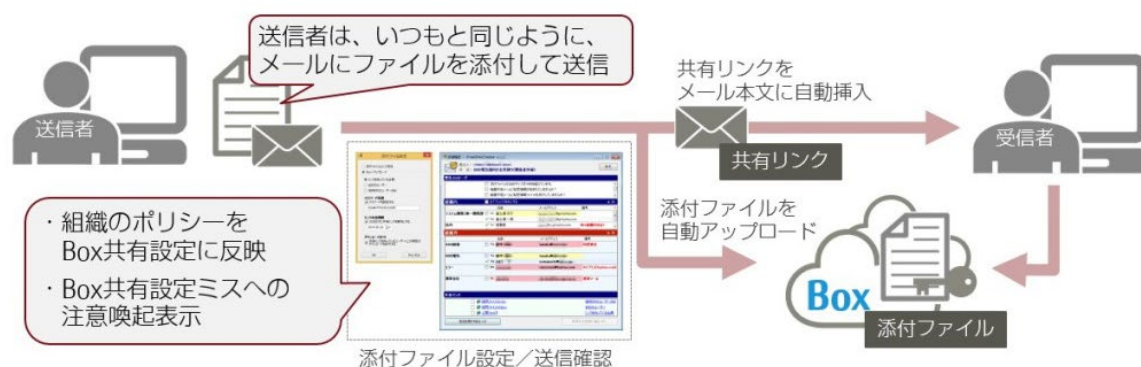
すが、Box連携オプションについても同様の条件で無償提供いたします。

当社は、今後もビジネスシーンにおけるお客様の安心安全なメールの活用を支援していきます。

【開発の背景】

企業のクラウドサービス利用が一般的になる中、クラウドストレージも利便性の高さから活用が広がり、昨今のテレワーク環境の拡大でさらに需要が高まっています。クラウドストレージを活用する企業では、誤送信リスクやシステム負荷の軽減などにより、ファイルのやり取りをメールのファイル添付からクラウドストレージのファイル共有に切り替える動きも広がっています。その一方で、クラウドストレージはその高い利便性の反面、共有設定のうっかりミスにより重大な情報漏えい事故に繋がるリスクを抱えています。

そこで当社は、企業でシェアの高いクラウドストレージサービス「Box」との連携オプションを「SHieldMailChecker 誤送信防止」に追加し、メール送信の際に、添付ファイルのBox共有へのシームレスな切り替えと、共有設定ミスを防ぐ仕組みを提供することで、安全な業務データの授受を支援していきます。



【Box連携オプションの特長】

1. メールにファイルを添付するだけで、Boxのファイル共有が可能

・ファイルが添付されたメール送信時に、同製品の操作だけで、添付ファイルのBoxへのアップロードと共有設定、共有リンクのメール本文への挿入が自動で実行されます。利用者は、Boxの操作画面を使わずに、簡単にBoxのファイル共有を活用できます。

2. ポリシー設定機能の強制力により、組織のBox利用ポリシー順守を支援

・ポリシー設定機能により、Box共有の設定範囲（公開レベル、パスワード保護の有無、有効期限、ダウンロード可否等）を管理者が制御できるため、組織のBox利用ポリシーに準拠した運用が可能です。

・管理者は、宛先に組織外が含まれるか否かなどの状況に応じたきめ細かいポリシー設定が可能です。

・個人取得のBoxアカウントなど、管理者が許可していないアカウントでのファイル格納はブロックされ、管理されていないアカウントでの業務データのアップロードや共有を防ぎます。

3. 注意喚起によりBox共有設定のうっかりミスによる情報漏えい対策を支援

・宛先毎に共有リンクの参照可否をまとめて確認できる一覧表示機能により、共有範囲の設定不足を防ぎます。また、誰でも参照可能なリスクの高い共有設定への警告機能で注意を促し、情報漏えいを防ぎます。

・メール転送時など、引用を含めたメール文面中のBox共有リンクに対して注意喚起されるため、元メールに含まれる共有リンクを意図しない相手に送付するのを防ぎます。

【「SHieldMailChecker 誤送信防止」の概要】

「SHieldMailChecker誤送信防止」は、パソコンにインストールするだけで、メールを送信する前に誤送信リスクを検出し、送信を止めることができるメール誤送信防止製品です。組織のセキュリティポリシーに基づき送信メールをチェックして、宛先の誤りやルール違反を警告します。

2009年の販売開始以降、官公庁や大手サービス業、製造業など様々な業界で100万ライセンス以上利用されており、お客様のご要望に合わせた機能強化を継続的に行い、高い評価をいただいています。

<特長>

- ・既存サーバ環境のまま、短期間で簡単に導入可能
- ・共通ポリシーにより、効率的にセキュリティレベルを統制
- ・「自動学習ホワイトリスト」（注2）により、過剰な警告を抑止し、宛先確認のマンネリ化を防止（特許登録済）
- ・「Box連携オプション」により、添付ファイルをBox上に展開

【販売価格】

- ・Box連携機能のご利用には、「SHieldMailChecker 誤送信防止」と「Box連携オプション」のライセンスが必要となります。

テレワーク用ライセンス（2020年12月31日まで利用可）の無償提供詳細については、お問い合わせください。

ライセンスパック名	SHieldMailChecker 誤送信防止		Box連携オプション	
	販売価格 (税別)	年間保守料 (税別)	販売価格 (税別)	年間保守料 (税別)
10ライセンスパック	45,000円	12,000円	20,000円	5,500円
50ライセンスパック	180,000円	36,000円	90,000円	22,500円

100ライセンス パック	300,000円	45,000円	125,000円	25,000円
10,000ライセンス パック	20,000,000円	3,000,000円	7,500,000円	1,500,000円

【販売開始日】 2020年7月13日

【販売目標】 2年間で5万ユーザー

【関連Webサイト】

- ・「FUJITSU Security Solution SHieldMailChecker 誤送信防止」（製品ページ）

<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/network/security/network-security/data-leakage-prevention/shieldmail/>

- ・「メール誤送信防止製品のテレワーク用追加ライセンスを無償提供」（関連プレスリリース）

<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/about/resources/news/press-releases/2020/0511.html>

【注釈】

（注1）「『SHieldMailChecker 誤送信防止』ライセンスを無償提供」

当社は、テレワーク環境のメールセキュリティ強化を支援するため、2020年12月31日までご利用いただける「SHieldMailChecker 誤送信防止」のテレワークPC用追加ライセンスを2020年5月11日から無償で提供しています。

関連プレスリリースは、上記【関連Webサイト】の該当リンクからご覧ください。

（注2）「自動学習ホワイトリスト」

ユーザー自身や管理者などが信頼できると判断したメールアドレスや電話番号などの一覧表のこと。

メール送信行動の統計的分析から、ホワイトリストを自動更新し、直近に送信許可した宛先をチェック対象外にするなど、過剰な警告を抑止することで慣れによるチェックの実効性低下を防止します。

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

プレスリリース

2020年6月26日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ

役員人事について

2020年6月25日に開催された第51回定時株主総会において、下記の役員人事を決定しましたのでお知らせします。

なお、当社グループ会社の役員人事についても、株式会社SSLパワードサービスは2020年6月26日開催の第15回定時株主総会により、また株式会社富士通SSLハーモニーは2020年6月26日開催の第3回定時株主総会により、下記のとおり決定しましたのであわせてお知らせします。

記

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ（2020年6月25日付）】

代表取締役社長 土肥 啓介（重任）

監査役（非常勤） 若林 昭浩

【株式会社SSLパワードサービス（2020年6月26日付）】

代表取締役社長 都丸 良弘（重任）

監査役（非常勤） 池之上 隆司

【株式会社富士通SSLハーモニー（2020年6月26日付）】

代表取締役社長 東條 正和（重任）
（非常勤）

監査役（非常勤） 池之上 隆司

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

プレスリリース

2020年5月11日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

メール誤送信防止製品のテレワーク用 追加ライセンスを無償提供 ～ テレワーク環境のメール情報漏えい対策を 支援 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：川崎市中原区小杉町、代表取締役社長：土肥 啓介）は、新型コロナウイルス感染症対策の一環として急増するテレワーク環境においても、メール誤送信による情報漏えいを防ぎ、お客様が安心してメールを活用できるよう、メール誤送信防止製品「FUJITSU Security Solution SHieldMailChecker（シールドメールチェッカー）誤送信防止」のテレワークPC用追加ライセンスを2020年5月11日から無償で提供します。

同ライセンスは、既存ユーザーおよび新規ライセンス購入者を対象に提供し、2020年12月31日までご利用いただけます。

【今回の無償提供の背景】

新型コロナウイルス感染症対策として要請されテレワークを導入する企業が急増するとともに、テレワーク環境におけるセキュリティ対策が課題となっています。メール誤送信による情報漏えい対策もその一つですが、社会情勢の変化の速さ、および費用面から着手できない企業も多く、セキュリティリスクによる不安を抱えています。

そのようななか、当社のメール誤送信防止製品ご利用中のお客様から、新たに用意したテレワーク用PCでメール誤送信が発生しないか不安に感じている、といった声をお聞きしています。

そこで当社は、お客様の不安を払拭するため、「SHieldMailChecker 誤送信防止」のテレワークPC用追加ライセンスを期間限定で無償提供することとしました。

テレワーク用PCにも同製品を導入することで、働く場所を問わず統一された企業のセキュリティポリシーが適用され、ビジネスシーンにおいて安心安全なメールの活用が可能となります。

【テレワークPC用追加ライセンス無償提供の対象と適用PC】

対象	適用PC
既存ユーザー	導入済みPCとは別に用意したテレワーク用PC
新規ライセンス購入者	購入ライセンス導入予定PCとは別に用意したテレワーク用PC

※ テレワーク用PC例：会社支給のテレワーク用PC、テレワークに使用する個人PCなど

※ テレワークPC用追加ライセンスは、購入ライセンス数に関係なくご利用いただけます。

※ 無償期間は2020年12月31日までとなります。継続してご利用の場合は、ご購入いただく必要がございます。

【「SHieldMailChecker 誤送信防止」の概要】

「SHieldMailChecker 誤送信防止」は、パソコンにインストールするだけで、メールを送信する前に誤送信リスクを検出し、送信を止めることができる法人のお客様向けメール誤送信防止製品です。組織のセキュリティポリシーに基づき送信メールをチェックして、宛先の誤りやルール違反を警告します。

2009年の販売開始以降、官公庁や大手サービス業、製造業など様々な業界で100万ライセンス以上利用されており、お客様のご要望に合わせた機能強化を継続的に行い、高い評価をいただいています。

<特長>

- ・既存サーバ環境のまま、短期間で簡単に導入可能
- ・共通ポリシーにより、効率的にセキュリティレベルを統制
- ・「自動学習ホワイトリスト」（注1）により、過剰な警告を抑止し、宛先確認のマンネリ化を防止（特許登録済）

【テレワークPC用追加ライセンス 提供開始日】 2020年5月11日

【関連Webサイト】

「FUJITSU Security Solution SHieldMailChecker 誤送信防止」

<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/network/security/network-security/data-leakage-prevention/shieldmail/>

【注釈】

(注1) 「自動学習ホワイトリスト」

ユーザー自身や管理者などが信頼できると判断したメールアドレスや電話番号などの一覧表のこと。

メール送信行動の統計的分析から、ホワイトリストを自動更新し、直近に送信許可した宛先をチェック対象外にするなど、過剰な警告を抑止することで慣れによるチェックの実効性低下を防止します。

【株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリについて】

URL：<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ 商品お問合せ窓口

E-mail：ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > **役員人事に関するお知らせ**

プレスリリース

2020年4月1日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

役員人事に関するお知らせ

当社は、4月1日付で下記のとおり役員の人事異動を行いましたので、お知らせいたします。

なお、当社関連会社の株式会社SSLパワードサービス、株式会社富士通SSLハーモニーについても、下記のとおり役員の人事異動を行いましたので、あわせてお知らせします。

記

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ】

1. 取締役・監査役

代表取締役社長 土肥 啓介
監査役（非常勤） 若林 昭浩

2. 執行役員

執行役員 田村 浩
執行役員 芳根 明宏
執行役員 東條 正和
執行役員 青柳 光範（新任）
執行役員 五十嵐 宏明（新任）

3. 退任

前執行役員常務 仙田健、前執行役員 都丸良弘は退任しました。

【株式会社SSLパワードサービス】

1. 取締役・監査役

代表取締役社長 都丸 良弘（新任）
監査役（非常勤） 池之上 隆司

2. 執行役員

執行役員 小林 正明
執行役員 福田 琢也（新任）

3. 退任

前代表取締役社長 唐渡直之、前執行役員 田代文男は退任しました。

【株式会社富士通SSLハーモニー】

1. 取締役・監査役

代表取締役社長（非常勤） 東條 正和（新任）
監査役（非常勤） 池之上 隆司

2. 退任

前代表取締役社長 仙田健は退任しました。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > 富士通SSLが「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に3年連続で認定

プレスリリース

2020年3月5日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

富士通SSLが「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に3年連続で認定

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介）は、グループ会社である株式会社SSLパワードサービス（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：唐渡 直之）および株式会社富士通SSLハーモニー（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：仙田 健）と共に、経済産業省と日本健康会議より「健康経営優良法人2020（大規模法人部門）」に認定されました。これは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人として認定されたもので、当社は2018年から3年連続での認定となります。

健康経営優良法人認定制度は、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。大規模法人部門では、「経営理念」、「組織体制」、「制度・施策実行」、「評価・改善」、「法令遵守・リスクマネジメント」の5つの側面で評価が行われます。

当社は、2017年4月に『働く人が幸せな会社である』との経営理念のもと、「富士通SSLグループ健康経営宣言」を採択し、社員の健康増進に向けた取り組みと合わせ、制度見直しなどによるワーク・ライフ・バランスや働き方改革を積極的に推進してきました。

今後も当社は、お客様へ継続的に価値を提供していくため、社員が健康でイキイキと能力を発揮できる環境づくりを続けていきます。



【富士通SSLグループ健康経営宣言】

富士通SSLグループは、『働く人が幸せな会社である』との経営理念のもと、社員の健康を大切にしたい経営に取り組めます。社員の健康を何よりも最優先し、社員がイキイキとその能力を最大限に発揮することで、「確かな技術」と「安心品質」でお客様の成長と豊かな社会発展に貢献します。

【富士通SSLの取り組み（一部）】

当社では、2018年4月に全社を対象としたテレワーク勤務制度の運用を開始し、さらに2019年11月には、コアタイムを廃止したフレックスタイム制の適用対象も全社に拡大、また、2019年8月にはドレスコードの自由化など、柔軟な働き方を制度面でもサポートし働き方改革を推進しています。

また、各種健康増進イベントや健康教育など健康増進に向けた取り組みを実施すると共に、経営陣と人事部を筆頭に下記の会議体を設け、全社を挙げて社員一人ひとりの健康管理対策を実施しています。

- 「健康安全ミーティング」（毎月1回、全社で実施）

全役員、全本部長、人事部、保健師による、健康維持・増進のための課題・対策の検討を目的としたミーティングを毎月開催。全社レベルでの労働状況を毎月確認し、時間外労働基準の厳守や休日確保等について企業方針や対策を検討。

- 「衛生委員会」（毎月1回、全社で実施）

人事部、総務部、保健師、社員代表者が参加。本部／部レベルでの労働状況を確認し、「健康安全ミーティング」での検討事項をもとに、特に、健康面では保健師の知見を参考にした対応策を、職場環境面では総務部による改善策を検討。

- 「時間管理協議会」（毎月1回、事業部毎に実施）

各事業部の本部長／部長、人事部、社員代表者、保健師（随時）が参加。部／個人レベルでの労働状況を確認し、「健康安全ミーティング」と「衛生委員会」で決定された新たな対策の共有と、実行中の対策の順守状況に関する報告を実施。

【株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリについて】

URL : <https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



利用条件

個人情報保護ポリシー

お問い合わせ

サイトマップ

富士通ホームへ

